

行政事業レビューシート (厚生労働省)						
予算事業名	戦没者叙勲等の進達等事業		事業開始年度	昭和38年度		作成責任者
担当部局	社会・援護局		担当課室	援護企画課		課長 黒川弘樹
会計区分	一般会計		上位政策	-		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	戦没者の叙位及び叙勲について(昭和39年1月7日閣議決定)		関係する計画、通知等	援護費及び事務委託費の経理取扱要領の一部改正について(平成22年3月29日社援発0329第41号)		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	今次の戦争に関する勤務に従事しこれに関連して死没した軍人軍属等に対し交付された、叙位及び叙勲の進達事務を行うものである。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	戦没者叙勲等にかかる本人又は遺族等からの照会事項への対応、関係機関との連絡調整、都道府県から進達されるものについて、閣議決定に基づき事務を旧軍関係調査事務等委託費の一部として都道府県に委託し、叙位及び叙勲の適切な事務処理を行う。					
実施状況	戦没者叙位叙勲対象予定数 約216万人 定例未伝達勲章対象予定数 約50万人 定期未伝達位記対象予定数 約36万人					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	4	4	4	4	4
	執行額	3	3	4		
	執行率	75.0%	75.0%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	3	3	4		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	援護費及び事務委託費の経理取扱要領に基づき、各会計年度における決算報告書を提出させ、支出状況等について確認をおこなっている。				
	見直しの余地	今次の戦争に関する勤務に従事し、これに関連して死没した軍人軍属等に対し交付された叙位及び叙勲について、国の責任により進達事務を行うために必要な予算額を計上するものである。				
予算チームの監視・効率化	本事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。					
補記						

戦没者叙勲等の進達等事業(平成20年度実績)

厚生労働省 2.8 百万円

今次の戦争に関する勤務に従事しこれに関連して死没した軍人軍属等に対し交付された、叙位及び叙勲の進達等にかかる事務を旧軍関係調査事務等委託費の一部として都道府県に委託して行う。

うち事務費
0.1 百万円

↓

【事務委託】

A 都道府県(47) 2.7 百万円

(内訳)上位10者

- | | | |
|----|-----|---------|
| 1 | 沖縄県 | 0.2 百万円 |
| 2 | 兵庫県 | 0.1 百万円 |
| 3 | 新潟県 | 0.1 百万円 |
| 4 | 静岡県 | 0.1 百万円 |
| 5 | 北海道 | 0.1 百万円 |
| 6 | 熊本県 | 0.1 百万円 |
| 7 | 長野県 | 0.1 百万円 |
| 8 | 三重県 | 0.1 百万円 |
| 8 | 京都府 | 0.1 百万円 |
| 10 | 東京都 | 0.1 百万円 |

今次の戦争に関する勤務に従事しこれに関連して死没した軍人軍属等に対し交付された、叙位及び叙勲の進達等にかかる事務の実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.沖縄県			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事務委託費	戦没者叙勲等の進達等事業	0.2			
計		0.2	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)